

復興まちづくり推進員だより



一般社団法人 東北圏地域づくりコンソーシアム

私たち復興まちづくり推進員が、東松島市で行っている活動を、市内外の皆様に幅広く知って頂き、共に歩いていくために、『東松島市復興まちづくり推進員だより』を毎月発行しています。

野蒜地区高台移転懇談会

前回、1月14日にグリーントウンやもとあおぞら集会所と、17日にひびき工業団地仮設集会所で開催した懇談会と同じテーマ



根古地区センター

で、お茶を飲みながらざっくばらんに自分たちの街に対する意見を語り合える場として、4月21日(月)根古地区センター、22日(火)上北谷地区仮設住宅談話室、23日(水)矢本運動公園東集会所にて計3回の懇談会を開催しました。今回も多くの方の意見を聞くことができました。

<復興まちづくりに対する想いや期待>

- ・1日でも早く移転したい
- ・野蒜北部丘陵地区の立体的なジオラマを作ってほしい。
- ・空き区画を公園、トイレ、駐車場にできないか。
- ・消防署が西端にあるが、中央や東部にあった方が火事の対応をしやすいのではないか。
- ・公共交通機関をきちんと整備してほしい。車を運転しなくても暮らせるようにしてほしい。
- ・散歩がてら地域の人や観光客が集える場所として「東屋^{あづまや}」を作ってほしい。また、高台から野蒜地

区が見渡せ、海の状況が確認できれば防災面でも有効である。

- ・仮設住宅のエアコンなど備品を無償譲渡してほしい。
 - ・海水浴に来た人向けの避難場所を造ってほしい。
- <わからない事、心配な事、不安な事>
- ・道路の勾配はどうなるのか。積雪や凍結時の問題が大きいのではないか。
 - ・物価が高くなって、家賃等払えるか心配。年金が年々少なくなっていることが問題。
 - ・今大工さんと話しても値段がどんどん変わっている。
 - ・住宅建築予定だが、途中で家族が亡くなったりして独りになった時に、災害公営住宅へ移ることができるのか？
 - ・家を建てた後、配偶者が亡くなる等家庭の事情で引越しをするときや土地を払下げの時期にも、土地を買うお金もなく、家を壊すお金もないというときはどうなるのか？

(一部抜粋)



上北谷地区仮設住宅談話室

※今回頂いた意見は、高台移転部会と市へお届けします。今後も皆さんの新しいまちづくりについての想いや期待を気軽に語れるような場を作りたいと考えています。

■ 4月の活動



●災害公営住宅へ

4月1日から小野中央・小野駅北・小松南・赤井川前二・赤井川前四番の市営住宅へ254戸の入居が始まりました。少しずつ自分で荷物を運んでいる方が見られましたが、4月中旬～下旬に移る方が多いようです。

新しい自治会組織づくりが、これから始まります。

住みよいまちづくりができる様、私たちも活動して参ります。



災害公営住宅鍵引渡し式

●山元町視察交流

4月7日(月)山元町へ、山元町復興まちづくり推進員のご案内で視察研修に行きました。

平成25年4月に新山下駅周辺地区の災害公営住宅に入居した岩佐区長さんに、新しいまちのコミュニティについてお伺いしました。

「みんなで集まる機会が大事。楽しいことがいいよね。新しい人が来たら話してみる。地域のことや特技などを教えあう。今のコミュニティが上手くいっているので協力体制も良いです。」



岩佐さん宅にて

👋5名体制になりました



三浦良太、佐藤正子、吉田みゆき、黒田みえ子、佐藤亮

5月1日より吉田推進員が加わり、5名体制になりました。これからもよろしくお願ひします。

4月22日(火)には、山元町の推進員4名が来訪し、推進員の活動について情報交換と、東松島市の現状、野蒜海岸からベルトコンベアとソーラーパネル、牛網・小松南の災害公営住宅、東矢本地区の造成地のご案内しました。

既存住宅地内に建つ災害公営住宅は、山元町にはないので、興味を示されていました。



東松島市の事務所にて



ブログに、私たち推進員の活動を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。

<http://hmms0311fm.da-te.jp/>

東松島 復興まちづくり推進員

検索



～復興まちづくり推進員事務所のご紹介～

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム
東松島市復興まちづくり推進員

事務所：東松島市蔵しっくパーク テレワーク3

東松島市矢本字北浦 25 番地

電話：0225-90-3571 FAX:0225-83-8577



※当法人は東松島市復興まちづくり支援業務を東松島市より受託しております。